



潮見小学校の食育の推進について

潮見小学校では、令和2年度から4年度にかけて、松山市学校給食研究大会の発表校として食育の研究を進めてきました。研究自体は、昨年度で一区切りついていますが、これまで実践して成果のあった取組を継続しています。それらの実績が認められて、愛媛県の学校給食優良校として表彰されました。

現在、食育について取り組んでいる主なものは次のようなことです。

1 学級活動での取組

学級活動の中には「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食生活の習慣の形成」が、活動内容の一つとして挙げられています。はしの持ち方やバランスよく食べることなど、自分自身の生活課題の改善に向けて取り組むことの大切さについて、話し合いの中で気付きました。栄養教諭と学級担任が連携して授業を行うことで、専門的なことも分かりやすく理解することができました。



2 家庭科での取組

5、6年の家庭科では、調理実習を行います。そこでも栄養教諭と学級担任が協力しながら指導をしました。食材の特性やよりよい盛り付け方だけでなく、包丁やガスコンロの使い方といった安全面の理解についても定着しました。



3 すくすく食育タイム

毎週木曜日、給食の時間に「すくすく食育タイム」を放送しています。そこでは、旬の食材、行事食の紹介、食事のマナーなどについて子どもたちに伝えます。給食でどんな魚や野菜が使われているのか、子どもたちが知ることは大事なことだと思います。



4 月ごとの掲示

職員室前通路にある掲示板に給食に関する資料を貼ったり、実物を展示したりして、給食により興味をもつことができるようにしています。足を止めて掲示物を見ている子どもたちがいますので、関心の高さが現れています。



この他にも、給食感謝週間のときに調理場の方へ感謝状を贈ったり、給食委員会が残食調査をしたりしています。

先日は、学校保健委員会で、栄養教諭から食育についてお話しさせていただきました。「食」は、命に直接関わる大事なことです。最近では、食べ物の栄養や安全性、食品ロスの問題などにも関心が高まっています。今後も、学校では「食育」を通して、食べることの意義、食に関わる人への感謝の気持ちをもつことを伝えていきます。各家庭で食の形があり、どれが正解というものはありませんが、子どもたちと一緒に食事を作ったり、食について話し合ったりすることも大切ではないでしょうか。これからも、本校の食育への取組にご協力をお願いいたします。